

科目名	デジタルマーケティングⅡA						学期	前	期
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	InstagramやLINE等のSNSマーケティングの基礎や活用事例を学びながら、実際にSNSマーケティング発信を実践する								
授業内容	SNSマーケティングの基本的な仕組みの学習から始め、ケーススタディを通じて、企業における新規顧客獲得のためのSNSマーケティング業務に必要とされる知識と運用方法を学ぶ。								
学習目標	SNSマーケティングの運用担当者となることを想定し、実践的な技術習得を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション(授業目的・全体像の理解)								
2	チームビルディング・役割分担								
3	デジタルマーケティング概論								
4	SNSマーケティング基礎(Instagramの特徴)								
5	企業・業界リサーチ								
6	ターゲット・ペルソナ設計								
7	ヒアリング準備(質問設計)								
8	企業ヒアリング								
9	ヒアリング内容整理・課題抽出								
10	課題設定と仮説構築								
11	SNS施策アイデア発想								
12	施策設計(目的・KPI設定)								
13	中間発表準備								
14	中間発表								
15	前期まとめ・後期への接続								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40%	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言						
	3. テストその他	30%	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係者との調整により授業内容が変更・前後することがあります								

科目名	デジタルマーケティングⅡB						学期	後	期
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	SNSマーケティングの知識を活用して発信した上で、インサイト分析等のアクセス解析を行いマーケティングの効果検証まで行う								
授業内容	ケーススタディを通じて、企業における新規顧客およびリピーター獲得のためのSNSマーケティング業務に必要とされる知識と運用方法を学ぶ。								
学習目標	SNSマーケティングの運用担当者となることを想定し、実践的な技術習得を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	後期オリエンテーション・前期振り返り								
2	SNS投稿企画(コンテンツ設計)								
3	クリエイティブ制作①(撮影・素材作成)								
4	クリエイティブ制作②(デザイン・文章作成)								
5	SNS投稿実践①								
6	SNS投稿実践②								
7	SNS広告基礎								
8	広告出稿設計								
9	広告運用・配信								
10	データ分析基礎(インサイトの見方)								
11	分析結果の整理と改善検討								
12	その他SNSと炎上リスク								
13	成果整理・最終発表資料作成								
14	最終発表								
15	総括・振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係者との調整により授業内容が変更・前後することがあります								

科目名	マーケティング I A(マーケティング基礎)						学期	前	期	期	
担当教員	上田 亜希子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	マーケティングの基本的考え方と活用事例を学ぶ。										
授業内容	マーケティングとは何かを理解し、基礎となる考え方や様々な手法について学びそららを実践に活かす。										
学習目標	自分の考えを整理し、分かりやすく伝えることができる。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。様々な資料から必要なデータ収集を行うことができる。グループディスカッション等を通して課題の発見や解決ができる。										
使用テキスト	なし										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	マーケティングとは何かを理解する					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
2	企業戦略におけるマーケティングの位置づけを理解する					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
3	環境分析手法を理解する (PEST分析・5F分析)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
4	環境分析手法を理解する (3C分析・バリューチェーン分析)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
5	環境分析手法を理解する (SWOT分析について)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
6	環境分析手法を理解する (PEST分析の活用)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
7	戦略策定の基本を理解する (STP分析)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
8	製品戦略について理解する (マーケティングミックス)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
9	実践：地域課題についての研究					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
10	実践：地域課題での基礎調査 (顧客ニーズ調査など)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
11	実践：地域課題の基礎調査を受けた戦略立案 (グループディスカッション)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
12	実践：地域課題基礎調査を受けた戦略立案 (グループディスカッション)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
13	実践：地域課題の基礎調査を受けた戦略立案まとめ (グループディスカッション)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
14	立案内容の発表					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認				
15	総まとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく				
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります										

科目名	マーケティングⅡA(WEBマーケティング)					学期	前	期	期
担当教員	清瀬 稜太	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	WEBマーケティングの概要から代表的な手法までを学び、クライアントの課題解決に向けた提案力を身につける。								
授業内容	様々なWEBマーケティング手法を、実例やツールを用いて学習する。								
学習目標	クライアントの課題に対する解決方法を考え、伝えるように提案できる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	WEBマーケティングとは？					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
2	WEBマーケティングの目標とターゲット設定について					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
3	WEBサイトへの集客について① WEB広告					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
4	WEBサイトへの集客について② SEO					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
5	WEBサイトの効果を測定しよう(Google Analytics)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
6	プレゼン資料の作成について					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
7	A社Webサイトの改善提案を作る 資料作成1(グループ)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
8	A社Webサイトの改善提案を作る 資料作成2(グループ)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
9	A社Webサイトの改善提案を作る 資料作成3(グループ)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
10	教室内での発表(グループ)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
11	A社Webサイトの改善提案を作る 資料作成1(個人)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
12	A社 Webサイトの改善提案を作る 資料作成2(個人)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
13	教室内での仮発表					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
14	仮発表を受けての資料改善					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
15	本発表					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	データマーケティング I A					学期	前	期	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	専門	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。□								
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ウレコンやRESAS等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。								
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮説を立て分析することができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	・オリエンテーション					【事前】	目次に目を通し、学びの領域を確認しておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
2	・ビッグデータとは					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
3	・データ活用					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
4	・エクセルハンズオン① グラフの作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
5	企画提案のための思考法					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
6	・エクセルハンズオン② 散布図と相関					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
7	企画提案のための思考法					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
8	データ活用と各業界					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
9	・POSデータ①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
10	・POSデータ②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
11	・POSデータ③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
12	フィールドワークの発表					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
13	・実習②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
14	・実習③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認		
15	科目試験					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	デジタルマーケティング I B					学期	後	期	2		
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。□										
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ウレコンやRESASに加え、ドルフィンアイ等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。										
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮説を立て分析することができる。										
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	・マーケティングの基礎①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
2	・ID-POSデータ ID①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
3	・ID-POSデータ ID②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
4	・ID-POSデータ ID③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
5	・マーケティングの基礎②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
6	・ID-POSデータ ID④					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
7	企画提案のための思考法 ・実習 ② ・実習 ③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
8	・外部データの利用①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
9	・外部データの利用②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
10	・実習 ⑤					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
11	・マーケティングの基礎③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
12	・課題発見と提案①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
13	・課題発見と提案②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
14	・課題発見と提案③					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
15	学習のまとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく			【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他	30 %	小テスト、期末テスト								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります										

科目名	顧客理解 I A					学期	前 期		
担当教員	梶 朋晃	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの核心である「顧客理解」の本質を学びます。単なる知識の習得ではなく、特定の1人の顧客(N1)を深く分析し、その人の心を動かす「アイデア」を生み出すプロセスを、ワークショップを通じて体感することを目的とします。								
授業内容	顧客理解を講義を通して体系的に学びながら、ワークショップや演習を通して重要性を理解する。								
学習目標	「Who - What - How」と「便益と独自性」のマーケティングの基盤となる考え方を習得する。 また、ワークショップを通して生成AIを活用し、AI時代に必要なスキルセットも身につける。								
使用テキスト	「マーケティングを学んだけれど、どう使えばいいかわからない人へ」西ロー希著 日本実業出版社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	オリエンテーション マーケティングとは？					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	顧客理解のフレームワーク【宿題あり】 「Who - What - How」と価値					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	ワークショップ【基礎編①】 「Who - What」と価値を言語化しよう					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	ワークショップ【基礎編②】 カスタマージャーニーとHowを設計しよう					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	フレームワーク紹介 ペルソナ設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	フレームワーク紹介 3C・STP・SWOT分析など					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	ワークショップ【実践編：富山情報ビジネス専門学校のオープンキャンパス企画】					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	ワークショップ【実践編：富山情報ビジネス専門学校のオープンキャンパス企画】					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	ワークショップ【実践編：富山情報ビジネス専門学校のオープンキャンパス企画】					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	プレゼンテーション(中間報告)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	ワークショップ【実践編：富山情報ビジネス専門学校のオープンキャンパス企画】					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	ワークショップ【実践編：富山情報ビジネス専門学校のオープンキャンパス企画】					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	プレゼンテーション(最終報告)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	授業ふり返り					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	プレゼンテーション(個人)					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係との調整により授業内容が変更・前後することがあります								

科目名	地域経済の作り方ⅡA						学期	前	期	期	
担当教員	大石 和	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	地域で活躍する若手経営者へのインタビューを通して、地域課題に取り組むリーダーシップのあり方を知る										
授業内容	地域課題をビジネスとして事業化し解決する若手経営者へのインタビューを通じて、リーダーシップの取り方とアントレプレナーシップを学ぶ										
学習目標	アントレプレナーの姿を通じて、富山の喫緊の課題を知り、課題解決を推進するリーダーシップのマインドを獲得する										
使用テキスト	なし										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	イントロダクション: 地域課題とリーダーシップ					【事前】	なし				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
2	地域課題に取り組む地域リーダー・リサーチ①					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
3	地域課題に取り組む地域リーダー・リサーチ②					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
4	質問事項整理					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
5	訪問インタビューの依頼文書作成					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
6	インタビュー事前準備					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
7	現地訪問・インタビュー実施					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
8	インタビューまとめ・人物相関図の作成・発表準備					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
9	発表					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
10	インタビュー事前準備					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
11	現地訪問・インタビュー実施					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
12	インタビューまとめ・人物相関図の作成・発表準備					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
13	発表					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
14	リーダーシップに関する議論①					【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
15	リーダーシップに関する議論①					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく				
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、インタビューの出来、協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他	20 %	学習成果総括レポート								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	外部関係との調整により授業内容が変更・前後することがあります										

科目名	Speak Out I A						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Dreams and Goals / 夢と目標								
3	Describing Your Routine / 日課について								
4	Discussing World Culture / 世界の文化について								
5	Expressing Your Opinions / 自分の意見を述べる								
6	Comparisons and Observations / 比較と観察								
7	Rules and Regulations / 規則と決まり								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Previous Experiences / これまでの経験								
10	Describing the Past / 過去の出来事について								
11	Your Current Self / 今の自分								
12	Expressing Choice and Preferences / 選択と好みの表現								
13	Conditions and Time / 条件と時間								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out I B						学期	後	期
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Vacation Memories and Review / 休暇の思い出と復習								
2	Social Media and Technology / SNSとテクノロジー								
3	Music and Emotions / 音楽と感情								
4	Personality Quiz and Dealing With Problems / 性格診断と問題解決								
5	Superlatives and Being the Best / 最上級の表現と「一番」について								
6	Extremes and Phobias / 極限状態と恐怖症								
7	Travelling / 旅行								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Debating Rules / 規則についてのディベート								
10	Thinking Positively / ポジティブ思考								
11	Life Changes / 生活の変化								
12	Expressing Opinions / 意見の表明								
13	Giving a Review / レビュー・講評								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out II A						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Pitching a Product / 商品の売り込み								
2	Predictions / 予想								
3	Chance and Possibility / 機会と可能性								
4	Hopes and Wishes / 希望と願い								
5	Explaining a Process / 手順・プロセスの説明								
6	Food Culture and Dining Out / 食文化と外食								
7	Health Awareness / 健康意識								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Following Instructions / 指示に従う・聞き取り								
10	Telling a Story / 物語を伝える								
11	Describing Your Ideal Person / 理想の人物像								
12	Teaching Japanese Culture / 日本語文化を教える・伝える								
13	Managing Stress / ストレス管理								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out II B						学期	後	期
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Giving Opinions & Agreeing / Disagreeing / 意見を述べる・賛成反対								
2	Expressing Emotions & Feelings / 感情の表現								
3	Making Suggestions & Giving Advice / 提案・助言をする								
4	Solving Problems Together / 問題解決								
5	Talking About Mistakes & Failure / 失敗・反省について話す								
6	Debating Simple Topics / 簡単なディベート								
7	Cross-Cultural Communication / 異文化コミュニケーション								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Interview Skills & Self-Introduction (Advanced) / 面接・自己紹介(応用)								
10	Talking About News & Current Topics / ニュース・時事問題								
11	Social Media & Digital Communication / SNSとデジタルコミュニケーション								
12	Persuasion & Influencing Others / 説得・影響を与える話し方								
13	Handling Difficult Conversations / 難しい会話への対応								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation I A						学期	前	期
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Your Role Model / 尊敬する人物								
3	Your Favorite Cuisine / お気に入りの料理・食文化								
4	Your Future / 自分の将来について								
5	Your Choice / 自分の選択								
6	Your Most Memorable Place / 最も思い出深い場所								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テストの準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Opinions on Social Issues / 社会問題に対する自分の意見								
10	Your Home / 私の地元・故郷								
11	Your Data Collection Survey (1) - Implementation / データ収集調査(1) - 実査・アンケート実施								
12	Your Data Collection Survey (2) - Data Processing / データ収集調査(2) - データ集計・分析								
13	Your Data Collection Survey (3) - Presentation / データ収集調査(3) - 発表・プレゼン								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation I B						学期	後	期
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Presentation Design and Skills (1) / プレゼンテーションの構成と話し方								
2	Presentation Design and Skills (2) / プレゼンテーションの構成と話し方								
3	Your App Recommendation (1) / おすすめアプリの紹介								
4	Your App Recommendation (2) / おすすめアプリの紹介								
5	Your Ideal Superpower (1) / 理想の超能力								
6	Your Ideal Superpower (2) / 理想の超能力								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your World Problem Views (1) / 世界の問題に対するあなたの考え								
10	Your World Problem Views (2) / 世界の問題に対するあなたの考え								
11	Your Life Changes (1) / あなたの人生の変化								
12	Your Life Changes (2) / あなたの人生の変化								
13	Presentation Design and Skills (3) // プレゼンテーションの構成と話し方								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation II A						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Your Movie Review / おすすめ映画レビュー								
2	Your New Invention for the World / 世界を変える新しい発明								
3	Your 'How to' Tutorial / 誰でもできる！ハウツー講座								
4	Your Recommended Japanese Culture / 私が推す日本の文化								
5	Your Unpopular Opinion / 私だけの「少数派」の意見								
6	Your Own Country / 自分が国を作ったら								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Last Meal / 人生最後の日の食事								
10	Your Best Time Period / 自分にとっての「黄金時代」								
11	Your Time Capsule / 100年後に残したいタイムカプセル								
12	Your Other Life / もしも別の人生を歩んでいたら								
13	Your Message to You / 未来の自分へのメッセージ								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation II B						学期	後	期
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Your Favorite Place in Japan / 日本で一番好きな場所								
2	Your Dream Product or Service / 理想の商品・サービス								
3	Your Life Hack / あなたの便利なライフハック								
4	Your Culture Shock Experience / カルチャーショック体験								
5	Your Opinion That Changed Over Time / 考えが変わった意見								
6	Your Ideal Future Lifestyle / 理想の将来のライフスタイル								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Personal Hero / あなたのヒーロー								
10	Your Biggest Challenge So Far / 今までで一番の挑戦								
11	Your Perfect Day / 理想の一日								
12	Your Turning Point / 人生の転機								
13	Your Advice to New University Students / 新入生へのアドバイス								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	オンライン国際協働学習 II A						学期	前	期
担当教員	大石 和 / LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	①英文理解 ②英語コミュニケーション力向上 ③プレゼンテーション力向上								
授業内容	海外の学生と、共通のテーマで課題解決を実施し、企画案をプレゼンテーションする（英語使用）								
学習目標	国際交流の場で英語で相手の話を理解できる。自分の考えを海外の学生に伝えることができる。海外の学生の異なる視点や考えを知る。								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	イントロダクション:国際交流準備								
2	試食会・強み洗い出し								
3	With the World ① 富山の魅力発信								
4	強み分析・マーケットトレンド調査								
5	インタビュー活動準備・練習・振り返り								
6	With the World ② インタビュー活動								
7	インタビュー活動振り返り								
8	企業向けに商品提案作成								
9	With the World ③ 第一回 提案づくり発表								
10	アイデア提案 ローカライズ・訴求力								
11	With the World ④ 第二回 提案づくり発表								
12	商品提案にもとづいたブラッシュアップ								
13	最終提案プレゼン準備・練習・振り返り								
14	With the World⑤ 企業への最終プレゼンテーション								
15	学習振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによる発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	JLPT I A						学期	前期	
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法1～3／読解1・聴解1								
2	文法4～6／読解2・聴解2								
3	文法7～9／読解3・聴解3								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法10～12／読解4・聴解4								
6	文法13～15／読解5・聴解5								
7	文法16～18／読解6・聴解6								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法19～21／読解7・聴解7								
10	文法22～24／読解8・聴解8								
11	文法25～27／読解9・聴解9								
12	文法28～30／読解10・聴解10								
13	文法31～33／読解11・聴解11								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価内容								
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	JLPT I B						学期	後	期
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法34～36／読解12・聴解12								
2	文法37～39／読解13・聴解13								
3	文法40～42／読解14・聴解14								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法43～45／読解15・聴解15								
6	文法46～48／読解16・聴解16								
7	文法49～51／読解17・聴解17								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法52～54／読解18・聴解18								
10	文法55～57／読解19・聴解19								
11	文法58～60／読解20・聴解20								
12	文法61～63／読解21・聴解21								
13	文法64～66／読解22・聴解22								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価内容								
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	日本語能力試験								

科目名	JLPTⅡA						学期	前期	
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法67～69／読解23・聴解23								
2	文法70～72／読解24・聴解24								
3	文法73～75／読解25・聴解25								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法76～78／読解26・聴解26								
6	文法79～81／読解27・聴解27								
7	文法82～84／読解28・聴解28								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法85～87／読解29・聴解29								
10	文法88～90／読解30・聴解30								
11	文法91～93／読解31・聴解31								
12	文法94～96／読解32・聴解32								
13	文法97～99／読解33・聴解33								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	JLPTⅡB						学期	後	期
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法100～102／読解34・聴解34								
2	文法103～105／読解35・聴解35								
3	文法106～108／読解36・聴解36								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法109～111／読解37・聴解37								
6	文法112～114／読解38・聴解38								
7	文法115～117／読解39・聴解39								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法118～120／読解40・聴解40								
10	文法121～125								
11	文法126～130								
12	文法131～135								
13	文法136～139								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	日本語能力試験								

科目名	データ・ビジュアライゼーションⅡA						学期	前期	
担当教員	清瀬 稜太	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるためにデータの可視化スキルを習得する、BIツールの操作を習得する								
授業内容	全15コマを通じて、Looker Studio の基本操作から応用的な可視化・共同作業まで一連のプロセスを学びます。								
学習目標	受講者が自らデータを分析・可視化し、意思決定に役立つダッシュボードを構築できるようになることを目指します。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	Looker Studioとは～アカウント設定 & 環境準備								
2	レポート作成の基本操作								
3	データ可視化の基礎: グラフと表								
4	データソースの拡張: 複数データの連携								
5	フィルタやパラメータの活用								
6	計算フィールド & カスタム指標の作成								
7	レイアウト・デザインの最適化								
8	共同編集・共有設定								
9	パフォーマンス最適化								
10	ダッシュボード作成ヒアリング ※学校のsnsアカウントやデータソースをヒアリングし、発表に向けて準備を進める								
11	グループワーク: ダッシュボード制作								
12	グループワーク: ダッシュボード制作								
13	グループワーク: ダッシュボード制作								
14	仕上げ & プレゼン準備								
15	発表会								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言						
	3. テストその他	40 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	プレゼンテーション I A						学期	前	期
担当教員	島田美沙	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	グラフィックレコーディングに関する知識とスキルを実践的に学習。表現、要約、図解、レイアウトのスキルを身につけ、「わかりやすく伝える資料の作り方」を学びます。								
授業内容	グラフィックレコーディングの基本を身に付けながら、PowerPointやCanvaを使用して学校の特徴や魅力を紹介資料を作成し、発表する。								
学習目標	グラフィックレコーディングを通して可視化するメリットを理解する。PowerPointやCanvaを使って、情報を的確に整理・要約、わかりやすく表現することができる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	基礎編①グラフィックレコーディングとは、初級講座①								
2	基礎編②グラフィックレコーディングの効用、初期講座②								
3	基礎編③グラフィックレコーディングの心得&要約のポイント、初期講座③								
4	基礎編④記事をグラレコする								
5	PowerPoint編①使い方を学ぶ								
6	PowerPoint編②グラレコした記事(講義4回目)をPowerPointで作ろう								
7	PowerPoint編③自己紹介スライドを作る								
8	PowerPoint編④自己紹介スライドの発表								
9	Canva編①使い方を学ぶ・名刺を作る								
10	Canva編②広告を作る								
11	実践編①学校紹介、掲載内容についての意見交換								
12	実践編②掲載内容の詳細決定、情報収集								
13	実践編③仮レイアウト作成								
14	実践編④発表資料の製作								
15	完成した学校紹介の発表、振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	プレゼンテーション I B						学期	後	期
担当教員	秋本 美衣	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己紹介、あいさつ、発声、司会進行、プレゼンテーション等のコミュニケーションの基本を身につける								
授業内容	「伝え方を学ぶ」発声方法、抑揚、順序、相手に合わせた話し方など								
学習目標	テーマに沿った目的を理解した上で、基本的な手法を使いながら、人前で実際に表現することができる。								
使用テキスト	スライド使用								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション～人前で話すとは～								
2	基礎講座～話し方・聴き方～								
3	基礎講座～伝える話し方基本の発声法								
4	基礎講座～伝える話し方ニュース編～								
5	実践編～自己PRをプレゼンしよう！（自己分析・他己分析）～								
6	実践編～スライドの作成～								
7	自己PR発表①								
8	自己PR発表②								
9	VTR分析・振り返り①								
10	VTR分析・振り返り②								
11	実践編～スライドの改善・作成～								
12	自己PR発表①								
13	自己PR発表②								
14	VTR分析・振り返り①								
15	VTR分析・振り返り②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	リサーチ・コミュニケーションⅡA(ファシリテーション)						学期	前期	
担当教員	水越 進一	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	多様な立場からの意見を引き出し、整理し、意見交換や合意形成を進行するファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける								
授業内容	本授業では、毎授業でのロールプレイングを軸に、ファシリテーションに重要な基礎となる準備する能力、場を作る能力、聞く能力を養う。さらに授業後半では、実際に想定されるケース演習や外部での実習を通して、応用力を身につけ即戦力の人材を養う。								
学習目標	下準備ができるようになり「段取り」の達人になる。多様な意見をまとめ「交通整理」のプロになる。誰もが発言しやすい「場を温める」名人になる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	導入: 講師紹介、オリエンテーション なぜ今、ファシリテーションなのか								
2	ファシリテーションの3つの要 — 準備・聞く・場を作る								
3	【準備編①】論点(アジェンダ)の設計と目的の共有								
4	【準備編②】人間関係の事前マッピングと「根回し」								
5	【場を作る①】心理的安全性とトーンの演出								
6	【場を作る②】参加者の集中力とコミットメントを高める								
7	【聞く力①】要約(サマライズ)の技術								
8	【聞く力②】観点マネジメントとポジティブ・リスニング								
9	【実践編①】アナログ・マッピング								
10	【実践編②】対立(コンフリクト)のハンドリング								
11	【実践編③】時間の管理と介入のタイミング								
12	ケーススタディ演習(社内会議・合意形成・トラブル対応)								
13	外部実習								
14	ファシリテーターのキャリアと自己研鑽								
15	総括: 授業の振り返りと今後の活用法のディスカッション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	本授業は外部機関との連携(各学校、市役所など)を伴うため、スケジュールに変更が生じる場合がある。調整は担当教員および関係者が行う。								

科目名	DX入門 I A						学期	後 期	
担当教員	松本 光司(7コマ)塩口 泰地	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	DXが必要とされる国内外の社会変化とデジタル技術やデータ活用によってめざす社会のあり方やビジネスモデルを理解する								
授業内容	業務プロセスのDX事例学習を通じ、ビジネスの効率化のための数値データ管理の考え方を学ぶ。ビジネスシーンで導入される業務効率化ツールRobotic Process Automation (RPA) やBusiness Intelligence (BI)の基礎を学習する。								
学習目標	RPAやBI等の業務効率化ツールの仕組みを理解し、基本操作ができる。ケーススタディにおいて、ビジネスの効率化のために役立つ数値管理の方法を提案できる。業務効率化の必要性を言語化できる。								
使用テキスト	授業時に配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	DX概論① DXとは何か？					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	DX概論② DXを支える技術と事例					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	アイデア発想とプロジェクト設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	DXプロジェクト プロトタイプ構築					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	DXプロジェクト開発①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	DXプロジェクト開発②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	DXプロジェクト成果発表					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	業務効率化とは何か(事例読解)					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	業務プロセスの整理演習					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	ムダの抽出ワーク					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	数値管理の基礎演習					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	データ集計・可視化演習					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	効率化ツール活用演習					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	改善提案書作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	改善提案発表					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	50 %	課題・提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	=								

科目名	リサーチメソッド I A						学期	前	期	期	
担当教員	三宅 可倫(15コマ) 升方 芳美(15コマ)	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4		
学習目的	アンケート調査を中心としたデータ収集における適切な手続きを学び、地域課題やビジネス課題発見にも役立てていけるリサーチ手法の基本を身につける。										
授業内容	身近な自分事のテーマを題材に、アンケートを実施し、現状を見える化・構造化し、解決策を見出すという、データ活用による課題解決の一連のプロセスを実践する。										
学習目標	目的に合ったアンケートを作成し、適切に実施し、分析結果から提案をつくることができる。										
使用テキスト	授業時に配布										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	課題解決のためのリサーチとアンケート調査					【事前】	なし				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
2	問いをたてる: 取り組むテーマを見つける					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
3	テーマを自分事にする					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
4	仮説づくり: 課題にかかわる要素の関連をイメージする					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
5	調査デザイン: 対象者設定、スケジュール、予算確認、調査倫理確認					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
6	質問項目の作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
7	質問文と回答選択肢、回答欄の作成①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
8	質問紙のレイアウト、個人情報取り扱いの考え方、調査依頼					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
9	アンケート実施と単純集計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
10	クロス集計とテキストマイニング基礎					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
11	集計結果の分析①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
12	提案資料づくり①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
13	提案資料づくり②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
14	提案発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく				
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。				
15	学習の振り返り、まとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく				
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題・提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他	30 %	テスト、学習成果総括レポート								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります										

科目名	リサーチメソッド I B					学期	後 期					
担当教員	蔵田 直美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2			
学習目的	マーケティングに必要なリサーチスキルとして、定量分析の基本である数値の扱いや統計の基本的な考え方を理解する。オープンデータや売上管理データを素材にデータ分析・活用力を身につける。											
授業内容	オープンデータ企業の売上データを扱い、各種定量分析の考え方と技法を学習する。成果物として、分析結果をふまえた販売促進案を企業へ提案する。											
学習目標	マーケティングの目的に合った数量データの収集ができる。分析結果はグラフや表を用いて可視化できる。分析結果をふまえた提案ができる。											
使用テキスト	授業時に配布											
週数	授業計画					事前・事後の学習						
1	数量データで捉える「差」や「変化」					【事前】	なし			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
2	課題選定と仮説検証					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
3	オープンデータの活用①RESASの扱い方					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
4	オープンデータの活用②RESASによる実態把握					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
5	オープンデータの活用③RESASを活用した仮説づくり					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
6	オープンデータの活用④ネットリサーチの基本					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
7	オープンデータの活用⑤ネットリサーチ実践					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
8	オープンデータの活用⑥ネットリサーチ実践					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
9	データにもとづく販促提案づくり①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
10	データにもとづく販促提案づくり②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
11	提案資料作成①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
12	提案資料作成②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
13	提案発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
14	フィードバックをうけての修正					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。	
15	学習の振り返り、まとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく			【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する	
	評価項目/割合					評価内容						
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献									
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無									
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート									
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											

科目名	リサーチメソッドⅡA						学期	前	期	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4	
学習目的	意識調査実践: テキストマイニング分析を活用し、人々の意識を可視化する手法を身につける									
授業内容	Google Formsアンケート調査やネットアンケートを材料に、人々の生活意識や商品やサービスへの関心を収集・分析する方法を学ぶ。									
学習目標	質的データを収集、分析し、結果から得られた消費者のニーズや課題感を提案に反映させることができる。									
使用テキスト	授業時に適宜配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	企業課題に関連した定性調査					【事前】	なし			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
2	定性調査実践 アンケート設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
3	定性調査実践 アンケート設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
4	定性調査実践 アンケート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
5	定性調査実践 アンケート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
6	定性調査実践 アンケート作成 予備実施					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
7	定性調査実践 アンケート作成 修正					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
8	定性調査実践 アンケート実施					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
9	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
10	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
11	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
12	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
13	分析レポート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
14	発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
15	学習のまとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく			
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する			
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科目名	リサーチメソッドⅡB						学期	後 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	学習してきた定性・定量分析スキルを活用し、課題解決の目的やデータの種類に応じた分析手法を選び、課題解決の糸口を見出す力を身につける								
授業内容	課題解決の場面やデータの種類の分析手法を事例とともに学ぶ。								
学習目標	グループではなく、個人で、実データを使って分析し、結果から得られた知見をもとに提案を行うことができる。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	課題の提示					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	課題の調査・事例調査					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	課題の調査・事例調査					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	課題の調査・データ分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	課題の調査・データ分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	課題の調査・データ分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	提案仮説・コンセプトづくり					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	提案仮説・コンセプトづくり					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	提案資料作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	提案資料作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	提案資料作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	提案資料作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	提案発表練習					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	学習のまとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	情報リテラシーⅡA						学期	後 期	
担当教員	浅林 孝志	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	情報取り扱いに関わる法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める								
授業内容	個人情報、企業機密データ、著作物の適切な取り扱いについての基本的な知識を学ぶ。事例学習を通じて、実践的な対応についても理解を深める。								
学習目標	企業や個人情報を取り扱う際に必要となる法規や社会規範を理解している。データや著作権を適正に取り扱う手順を理解している。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	イントロダクション					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	個人情報保護法の理解					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	個人情報に関連する事件・事故					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	個人情報に関連する事件・事故					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	個人情報保護の対策と情報セキュリティ:脅威と対策					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	個人情報保護の対策と情報セキュリティ:組織体制の整備					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	個人情報保護の対策と情報セキュリティ:実務知識					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	個人情報保護の対策と情報セキュリティ:オフィスセキュリティ					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	個人情報保護の対策と情報セキュリティ:技術的管理の実務知識					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	著作権保護と侵害					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	著作権保護と侵害					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	事例研究:企業におけるデータ管理の実態					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	事例研究:企業におけるデータ管理の実態					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	事例研究:企業におけるデータ管理の実態					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	学習の振り返り、まとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40 %	テスト、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	卒業研究ⅡA						学期	前期	
担当教員	小坂 太貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を生み出す(Dream成果発表会、地域課題解決コンテスト等応募)								
授業内容	自身で課題を見つけ、解決策となる商品やサービスの提案をおこなう。パワーポイントでの説明ならびにphotoshop/illustratorを使った広報用成果物を作成する。								
学習目標	テーマを設定し、データを収集・分析し、結果を考察し、提案内容をまとめあげ、発表するスキルを身につける。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	イントロダクション 「ビジネスプランづくりとは」								
2	テーマの選定 自分事で取り組める課題の発見								
3	選定テーマの検討(ディスカッション)								
4	選定テーマの検討(ディスカッション)								
5	収集データの選定								
6	現地調査・事業者ヒアリング								
7	現地調査・事業者ヒアリング								
8	追加収集するデータ収集 (オープンデータ/企業データ)								
9	追加収集するデータ収集 (オープンデータ/企業データ)								
10	調査分析結果整理								
11	仮説作成(ロジックツリー)								
12	仮説作成(ロジックツリー)								
13	仮説提案資料作成								
14	仮説提案資料作成								
15	発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	卒業研究ⅡB						学期	後	期
担当教員	小坂 太貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を生み出す								
授業内容	卒業研究ⅡAで作成した事業案をポスターとして資料作成し、卒業成果として発表する								
学習目標	テーマを設定し、データを収集・分析し、結果を考察し、提案内容をまとめあげ、発表するスキルを身につける。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	ビジネスプラン事例研究								
2	ビジネスプラン事例研究								
3	現地調査・事業者ヒアリング 質問項目作成								
4	現地調査・事業者ヒアリング 質問項目作成								
5	現地調査・事業者ヒアリング								
6	現地調査・事業者ヒアリング結果整理								
7	ユーザーアンケート 質問項目作成								
8	ユーザーアンケート 質問項目作成								
9	ユーザーアンケート 実施								
10	ユーザーアンケート 結果整理								
11	調査分析結果整理								
12	調査分析結果整理								
13	仮説提案資料作成								
14	仮説提案資料作成								
15	発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40%	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	フィールドワーク I A						学期	前	期
担当教員	秋本 美衣	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	地域社会でのフィールドワークを通じて、課題を抽出する力を身につける。								
授業内容	地域内のイベントにおいて、地域住民・事業者へのインタビューを行い、コミュニケーションの手法、課題発見の方法を学ぶ。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 目的のためにフィールド観察やインタビューを活用する方法を理解する 地域関係者との関係構築とインタビューの作法を身につける 								
使用テキスト	都度、スライド仕様								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション①自己紹介&他個紹介(インタビュー形式)								
2	イントロダクション フィールドワーク基本の心構えとマナー								
3	インタビューの準備①(小杉地区の調べ学習)								
4	インタビューの準備②インタビュー対象の調べ学習								
5	インタビューの準備③インタビュー質問項目作成								
6	インタビューの役割分担と練習①								
7	インタビューの練習②								
8	プレスリリースの書き方・作成								
9	現地調査とインタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	60 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	10 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	課題解決学習 I A						学期	後	期
担当教員	蔵田 直美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	連携先の地域や企業の課題を解決するために、マーケティング知識とリサーチスキルを活用し、新しい集客案・販売促進案を提案する。								
授業内容	集客・販促に取り組む地域や企業の課題に対し、インタビューを通じて顧客理解を深め、起案するアイデアを実践するプロジェクト型授業を行う。								
学習目標	地域課題をテーマに学習し、ビジネスコンテスト・政策立案コンテスト等への出場を目指す。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション								
2	地域・企業の現状と課題								
3	課題とステークホルダーの整理								
4	仮説づくりのためのリサーチ								
5	仮説づくり								
6	インタビュー質問項目作成								
7	インタビュー質問項目作成								
8	インタビューの役割分担と練習								
9	現地調査と関係者インタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	課題解決学習ⅡA						学期	後	期
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	連携先の地域や企業の課題を解決するために、マーケティング知識とリサーチスキル、データ分析スキルを活用し、新しい集客案・販売促進案を提案する。さらに、提案を試行し、検証まで行う。								
授業内容	連携先の地域課題・企業課題に、学生主体で取り組むプロジェクト型授業を目指す。								
学習目標	地域課題をテーマに学習し、ビジネスコンテスト・政策立案コンテスト等への出場を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数									
1	オリエンテーション								
2	地域・企業の現状と課題								
3	課題とステークホルダーの整理								
4	仮説づくりのためのリサーチ								
5	仮説づくり								
6	インタビュー質問項目作成								
7	インタビュー質問項目作成								
8	インタビューの役割分担と練習								
9	現地調査と関係者インタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50%	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20%	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	インターンシップⅡA						学期	前期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	3
学習目的	インターンシップを通じて自己理解および業界・職種への理解を深める								
授業内容	インターンシップにあたり、自己の強み弱みの理解。業界、企業研究 現場の業務フローの中でインターンとして授業で身につけたマーケティングやデータ分析の知識とスキルを適用し、どのように業務へ貢献できるか挑戦する。								
学習目標	・企業研究を通じて、マーケティングやデータ分析のスキルがいかせる業界や職種を理解する。 ・自己理解を深めると同時にマーケターという職種に求められるマインドやスキルを理解する。 ・机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	インターンシップの目的と意義 インターンシップ実施のフローと提出物等ファイル管理 □								
2	日誌・報告書の書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
3	企業への電話のかけ方・メールの書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
4	実習：現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習								
6	実習後の報告文のブラッシュアップ講座								
7	実習								
8	実習								
9	実習								
10	実習								
11	実習								
12	実習								
13	実習								
14	ふりかえり発表会①就職活動に向けて								
15	ふりかえり発表会②就職活動に向けて								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	ICT演習 I A						学期	前	期
担当教員	クレッセント株式会社	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	Excelの基本								
2	データの入力と基本操作								
3	セルの書式設定								
4	表示形式								
5	行・列の操作								
6	ページ設定								
7	グラフの作成								
8	グラフの編集								
9	ワークシートの管理								
10	基本的な関数								
11	論理関数・日付関数								
12	データベースの基本								
13	並べ替えとフィルター								
14	テーブルの操作								
15	総合学習問題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中に取り組む課題(入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	Excel表計算処理技能認定試験3級								

科目名	ICT演習 I B						学期	後	期
担当教員	クレッセント株式会社	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	前期内容の復習								
2	Excel表計算処理技能認定試験3級の概要								
3	実技練習問題1								
4	実技練習問題2								
5	実技練習問題3								
6	模擬試験1								
7	模擬試験2								
8	模擬試験3								
9	模擬試験4								
10	模擬試験5								
11	模擬試験6								
12	模擬試験7								
13	検定試験対策								
14	検定試験対策								
15	期末まとめ課題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中に取り組む課題(入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	Excel表計算処理技能認定試験3級								

科目名	総合演習 I A						学期	前	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習 I B						学期	後	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント企画								
3	イベント企画(コスト計算)								
4	イベント準備(プロジェクト管理)								
5	イベント準備(予算管理)								
6	イベント準備(広報計画)								
7	イベント準備(買い出し)								
8	イベント準備(試行・シミュレーション)								
9	学園祭 学科企画・準備・参加								
10	学園祭 学科企画・準備・参加								
11	精算								
12	イベント実施報告発信								
13	イベント実施報告発信								
14	就職集会(レポート提出)								
15	ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅡB						学期	後	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント企画								
3	イベント企画(コスト計算)								
4	イベント準備(プロジェクト管理)								
5	イベント準備(予算管理)								
6	イベント準備(広報計画)								
7	イベント準備(買い出し)								
8	イベント準備(試行・シミュレーション)								
9	学園祭 学科企画・準備・参加								
10	学園祭 学科企画・準備・参加								
11	精算								
12	イベント実施報告発信								
13	イベント実施報告発信								
14	就職集会(レポート提出)								
15	ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	表現力 I A						学期	前	期
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	学習を通して人とのふれあいを体験し、より良いリレーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に								
授業内容	コミュニケーションの基礎的なスキルを身につける。演劇的技法を取り入れたアクティブラーニング、グループワーク、構成的グループワーク、								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合う								
使用テキスト	テキストなし。適宜、プリントを配布。								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談カトレーニング								
4	対話と傾聴を学ぶ								
5	相手に伝わる話し方を学ぶ								
6	個人発表 SHOW & TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらないコミュニケーションを体験する								
8	インプロ（即興演劇）～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ（即興演劇）～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ①								
13	スピーチ②								
14	個人発表								
15	まとめと振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
面基準	1. 課題	40 %	授業内での課題（実技やワーク）に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームに協力する姿勢 以上の観						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物 以上の観点から総合的に評価する。						
	3. テストその	30 %	個人発表、グループ発表等。①発表の出来 ②そこに至るまでの過程 ③取り組み姿勢 以上の観点から総合的に評価する。						
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。								

科目名	就職支援 I A						学期	前	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)								
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
3	働くことの責任と意義(グループワーク)								
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)								
5	会社の仕事の決まりやしぐみを理解する(グループワーク)								
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	ビジネスマナーの基本								
8	ビジネス文書「報告書の書き方」								
9	【礼儀としての身だしなみ】スーツ着こなしセミナー								
10	インターンシップの事前授業								
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談								
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。								
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討								
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)								
15	インターンシップに向けての目標設定								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	なし								

科目名	就職支援 I B						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座								
8	履歴書作成の実践①								
9	履歴書作成の実践②								
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)								
14	面接対策講座								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	なし								

科目名	就職支援ⅡA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	2年次向け就職活動の進め方								
2	インターンシップ進捗管理①								
3	インターンシップ指導・進捗管理②								
4	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
5	面接練習①(入退室・挨拶・座り方・歩き方・バッグの扱い)								
6	面接練習②(自己PR)								
7	面接練習③(力を入れた学外活動)								
8	面接練習③(志望動機)								
9	面接練習④(グループディスカッション)								
10	面接練習⑤(グループディスカッション)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
14	個別面談指導								
15	個別面談指導								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40%	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30%	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								